

6/30～ 住民人権学習（社会におけるこどもの人権）

今日は住民人権学習についてお知らせします。

住民人権学習は、様々な人権課題や自治会が抱える課題について、人権の視点から考え、誰もがお互いを認めながら共に生きる「共生社会」の実現をめざして実施されています。

人権について学び、それぞれが理解を深めることで、地域の中で人権文化が広がり、暮らしやすい地域に繋がっていきます。

さて、今年度の学習テーマは「社会におけるこどもの人権」です。

社会には、虐待や貧困、死別など様々な理由で保護者と暮らせず、児童養護施設など社会的養護のもとで暮らしているこどもたち、そして社会的養護のもとから自立しても家族からのサポートを得られずに生きる人たちがいます。こうした人たちを「ケアリーバー」といいます。

今回は、社会におけるこどもの人権をテーマとした、人権学習DVD「あなたのいる庭」を紹介します。

阪神・淡路大震災で夫と娘を亡くし、心を閉ざした主人公の和佳奈^{わかかな}の唯一の拠り所は、自宅の庭で花や野菜を育てることでした。ある日、育てていたトマトの芽が何者かに踏みつけられてしまいます。誤って庭に入ってしまったと謝罪に訪れたのは、児童養護施設で暮らすこども・実結^{みゆ}と怜央^{れお}でした。実結は、自分たちがトマトを植え直すと申し出ますが、和佳奈はこれをきっぱりと断ります。しばらくして偶然再会した実結と和佳奈。断ったことを気にしていた和佳奈は、「トマトの種を植え直すのを手伝って」と声をかけ、二人の間に交流が生まれます。和佳奈は、震災で受けた心の傷を、実結との出会いを通して少しずつ癒されていきます。一方、実結もまた、施設で暮らしていることへの偏見や将来への不安を抱えていましたが、和佳奈との交流を通して、少しずつ前向きになっていきます。

社会的養護の現状や実態を知る人は少なく、ケアリーバーは世間からの無理解と偏見にさらされ、居場所を見い出せず、進学や就職など生きる上で様々な困難に直面している現状があります。これからの社会を担うこどもたちが、自分らしく幸せに暮らせるようにするためには、社会全体でこどもたちを支えていくことが大切です。

人権啓発センターや各住民センター・ライフピアいちじまでは、本日ご紹介した「あなたのいる庭」のDVDを貸し出していますので、この作品を通して、社会におけるこどもの人権について理解を深めましょう。

他にも様々なテーマのDVDの貸し出しを行っていますので、市のホームページをご覧ください。